

令和6年能登半島地震の復旧・復興に向けた 観光まちづくりにおける現場主義と融合研究の試み

川澄 厚志

金沢大学 融合研究域 融合科学系

はじめに① : 自然災害における復興の課題

●復興の課題

災害によって失われた生きてゆく上で欠かせない「**4つの生(生活、生命、生業、生態)**」と「**4つの自(自由、自立、自尊、自治)**」の回復が求められる

4つの生の回復：7つの要素

「**医**」心身の健康を取り戻す

「**職**」生きがいとなる仕事を取り戻す

「**食**」健康の維持に繋がる食生活を取り戻す

「**住**」安心できる住まいと暮らしを取り戻す

「**育**」子供たちが成長できる環境を取り戻す

「**連**」人・自然・歴史と人のつながりを取り戻す

「**治**」地域のガバナンスで自治や自律を取り戻す

4つの自の回復

<被災地の個性や被災者の人権を尊重することが大切！>

【4つの自】

- 居住地選択や住宅再建の**自由**が認められていること
- 復興まちづくりでは地域コミュニティの**自治**が認められていること
- 住宅や仕事を取り戻して**自立**をはかること
- 生きがいやつながりを取り戻して**自尊**を回復すること

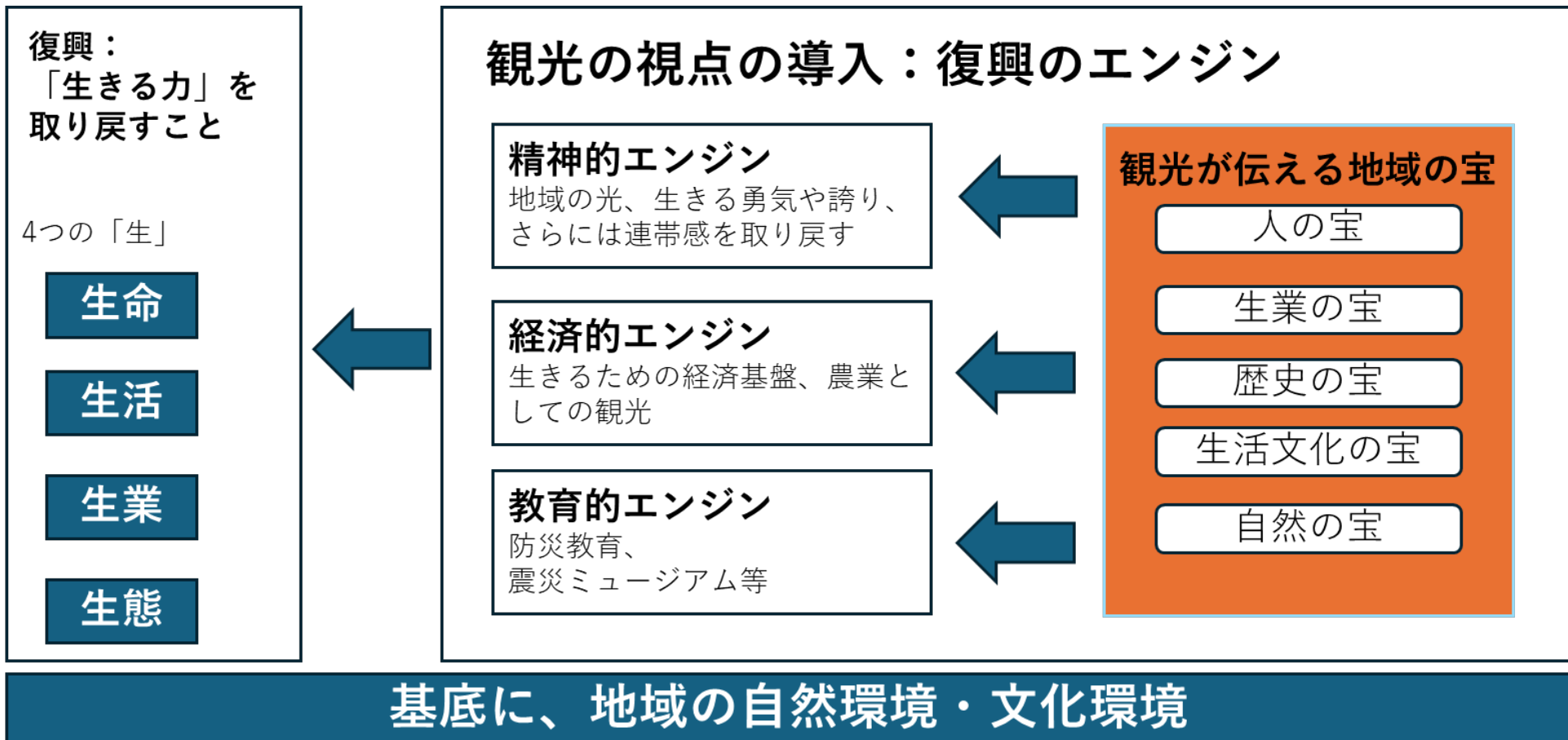
<復興における3つの取り組みの必要性>

「回復」 「減災」 「改革」

はじめに②：自然災害からの復興における観光の可能性

●観光の視点の導入

観光は、他の地域の自然や文物さらには文化に触れて、そこでしか得られない精神的な欲求を満たすこと。**地域の風と土と光**をもう一度見直す形で地域や復興を考える！



① 令和6年 能登半島地震 観光資源被害状況の調査について

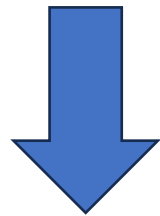
調査者:

川澄厚志 丸谷耕太 森崎裕磨 菊地直樹 佐無田光 (以上、金沢大学先端観光科学研究所メンバー)
中谷陽、菊地由太郎、栗原共喜、松山怜乃、古田汐音、中田貴水 (以上、金沢大学 学類生)
古山周太郎(早稲田大学教員)、藪長千乃(東洋大学教員)、宮島良明(北海学園大学教員)

本調査の目的

調査対象地域: 志賀町以北3市3町(志賀町、七尾市、輪島市、穴水町、能登町、珠洲市)

1. 令和6年能登半島地震における能登の観光資源の被害状況を明らかにする
2. 本調査の結果を一般公開(オープンデータ化)し、能登の観光復興ビジョンに寄与する
3. 融合研究(GISやKLAの人流データを活用)により、能登の観光資源状況を可視化する



能登の観光復興へ

対象となる観光資源の選定基準/分類方法について①

調査計画時(2024年1月)調査対象地域:能登地域の4市5町

資源の選定基準:

1. 各自治体等の**公式HP**、各自治体・県の**観光パンフレット**に記載されている資源
2. 文化財登録のあるものは**県指定**のものまで選定
(**絵画/古文書/彫刻等については個人所有のものも多いため選定していない**)
※上記より、文化財としては市指定以下だがHPやパンフレットで紹介されている資源は選定している
(ex:羽咋の川渡し神事など)
3. **酒蔵**は一括して選定(出典:金沢国税庁作成「酒蔵マップ」)

対象となる観光資源の選定基準/分類方法について②

資源の分類方法:

JTB能力開発(2008)『地域振興と観光ビジネス』p101に基づいた分類方法を採用

自然系資源

山岳、高原・湿原、湖沼、溪谷、滝、河川、海岸・岬、島、岩石、洞窟（鍾乳洞、奇岩等）、動物、植物（並木など人為的に作られたものも含む）、自然現象（温泉の湧き出、樹氷、オーロラ等）など

人文系資源

●歴史的資源

神社、仏閣、城、史跡、庭園、歴史的建造物（民家、商家、武家屋敷、蔵など）、記念碑・像、産業遺産（鉱山、工場・機械、倉庫、港湾施設、運河等）など

●近代・現代的資産

近代的・現代的建造物（先端的な建造物・建築物 - ビル、橋、工場等）、公園など

●その他

民俗文化（衣・食・住、祭り、芸能、伝承等）、産業（焼きものづくり、織物づくり、和紙づくりなどの伝統的な地場産業、近代的製造業、農林漁業）、科学技術、美術・工芸品、言語、人物など

複合資源

歴史景観（歴史的な町並み・家並み、旧街道のたたずまい等）、田園景観、郷土景観（朝市、市場等）、都市景観など

能登地域の特徴である「祭り」や「芸能」、「歴史景観」などが含まれており、網羅的であるため採用した

対象となる観光資源の選定基準/分類方法について③

酒蔵を選定した理由

1. 日本四大杜氏である「能登杜氏」に代表されるように、酒造りの技術は能登の伝統文化の中でも重要な位置づけである点
2. 酒蔵ツーリズムに代表されるように、酒蔵は産業ツーリズムの観点でも重要な観光資源である点
3. 宗玄酒造による「復興の酒」販売など、酒蔵を中心に復興の動きが見られている点

選定した観光資源② - 調査可能な資源に限る(B分類) *羽咋・宝達志水・中能登では未実施に

市町村名	地域資源数	自然系	人文系 (歴史的)	人文系 (近代・現代的)	人文系 (その他)	複合資源
羽咋市	28	5	11	7	4	1
宝達志水町	23	5	7	10	1	0
志賀町	26	8	6	12	0	0
七尾市	46	1	17	24	2	2
中能登町	22	2	10	10	0	0
輪島市	51	16	6	17	7	5
穴水町	13	1	5	4	2	1
能登町	42	9	10	16	5	2
珠洲市	40	8	8	21	3	0
計	218	43	52	94	19	10

<観光資源の分類表>

能登の観光資源の分類表は、

一般公開します！

	A	B	C	D	E	F
83	82	8	輪島市	自然系資源	西々木洞窟	国指定石巻及び天然記念物
84	83	9	輪島市	自然系資源	男女滝	国指定名勝
85	84	10	輪島市	自然系資源	アギシコギクザクラ	天然記念物
86	85	11	輪島市	自然系資源	伊勢神社の大スギ	天然記念物
87	86	12	輪島市	自然系資源	稲滝	天然記念物及び名勝
88	87	13	輪島市	自然系資源	枝原北代比古神社社叢タブ林	天然記念物
89	88	14	輪島市	自然系資源	滝神社社叢スダシイ林	天然記念物
90	89	15	輪島市	自然系資源	講又のモウソウキンメイチク林	天然記念物
91	90	16	輪島市	自然系資源	元祖アデ	天然記念物
92	91	17	輪島市	自然系資源	徳照寺のシダレザクラ	天然記念物
93	92	18	輪島市	自然系資源	西慶寺のヤマモミジ	天然記念物
94	93	19	輪島市	自然系資源	宝立山アデ天然林	天然記念物
95	94	20	輪島市	人文系資源 (その他)	徳蔵神社 (輪島大衆)	
96	95	21	輪島市	人文系資源 (その他)	清水酒造店	酒蔵
97	96	22	輪島市	人文系資源 (その他)	中島酒造店	酒蔵
98	97	23	輪島市	人文系資源 (その他)	中野酒造	酒蔵
99	98	24	輪島市	人文系資源 (その他)	中納酒造	酒蔵
100	99	25	輪島市	人文系資源 (その他)	ハイディワイナリー	酒蔵
101	100	26	輪島市	人文系資源 (その他)	白根酒造店	酒蔵
102	101	27	輪島市	人文系資源 (その他)	日吉酒造店	酒蔵
103	102	28	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	神の里交流館	門前町と徳持寺の関りが紹介
104	103	29	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	石川原輪島漆芸美術館	
105	104	30	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	輪島塗会館	
106	105	31	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	永井豪記念館	
107	106	32	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	輪島ドラマ記念館	
108	107	33	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	足湯 湯楽里	
109	108	34	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	輪島キリコ会館	
110	109	35	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	輪島工房長屋	輪島塗の各工房が集まった交流施設
111	110	36	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	猿山岬灯台	
112	111	37	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	道の駅千枚田ポケットパーク	
113	112	38	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	一本松公園	
114	113	39	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	道の駅輪島	
115	114	40	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	道の駅赤神	
116	115	41	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	塩の駅 輪島塩	
117	116	42	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	輪島競潮場	国登録有形文化財
118	117	43	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	道の駅のと里山空港	
119	118	44	輪島市	人文系資源 (近代・現代的資)	鶴ヶ浦塩水プール	国登録有形文化財
120	119	45	輪島市	人文系資源 (歴史的資源)	大本山徳持寺祖院	国・県・市登録有形文化財多数あり
121	120	46	輪島市	人文系資源 (歴史的資源)	河岸本誓寺	能登最古と言われる浄土真宗の寺院
122	121	47	輪島市	人文系資源 (歴史的資源)	徳持寺	

調査方法①

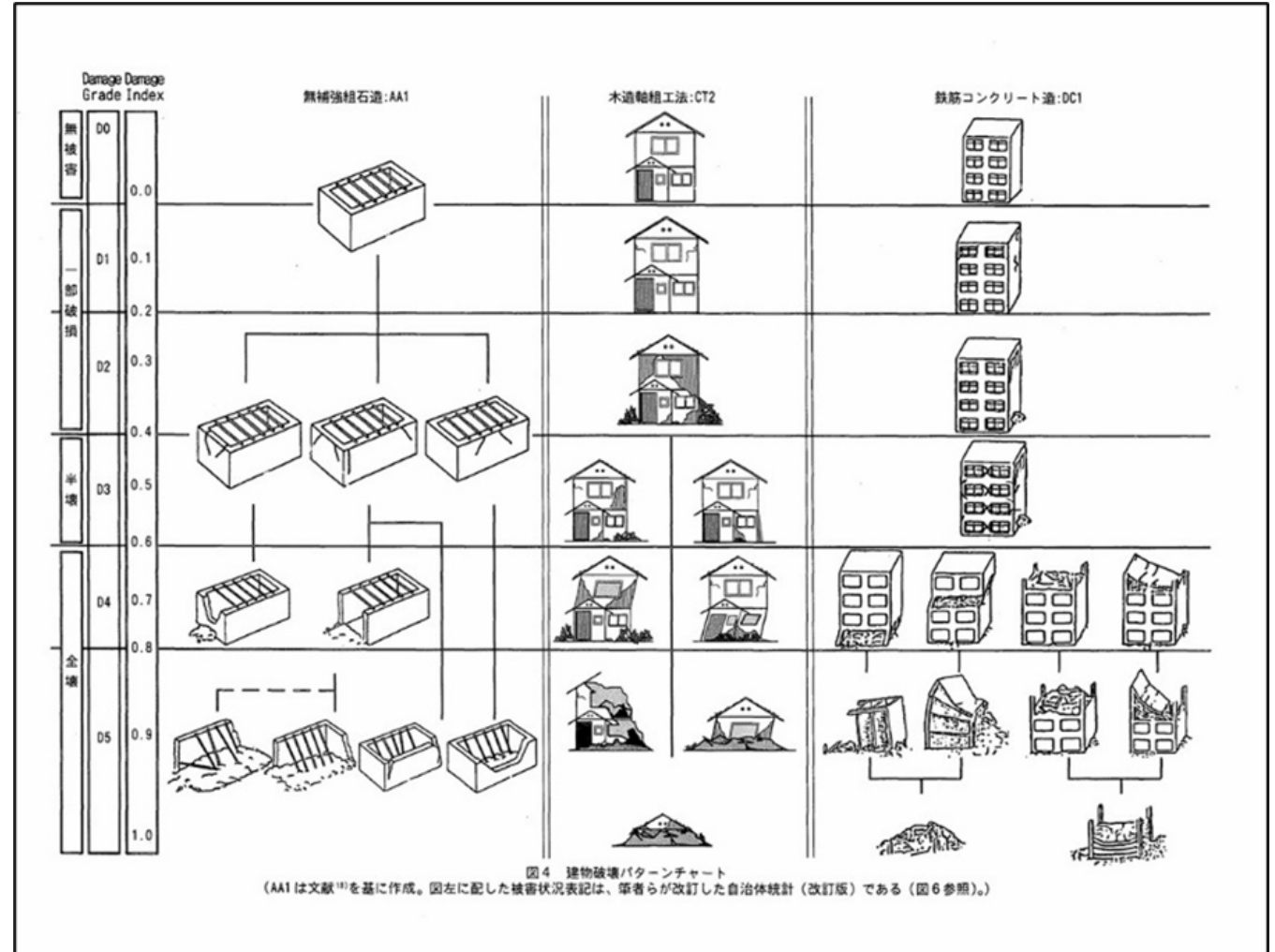
岡田成幸(1999)「地震被害調査のための建物分類と破壊パターン」

『日本建築学会構造系論文集』524:p68 のパターンチャート(下記図)に基づき、

無被害-全壊までの四段階を目視で評価

1. 無被害
2. 一部被害
3. 半壊
4. 全壊

⇒ 調査の結果は、本日発表します！



調査方法②

その他の評価項目は以下の通り

はい/いいえで、目視によりそれぞれ評価を行う

評価項目	
施設（建物）	外観に被害はあるか
	内観に被害はあるか
	物が散乱しているか
	入り口が入れるか
アクセシビリティ	道路に被害はあるか
	駐車場に被害はあるか
	看板に被害はあるか
利用状況	利用用途に変化はあるか

調査方法③

その他の評価項目は以下の通り(記述式で調査者がそれぞれ気づいたことを記入)

- 被災状況
- 震災後の変化
- 今後の展望
- その他

<被害状況の見える化と撮影した写真>

能登の観光資源被害状況と撮影した写真をグーグルマップで可視化！

一般公開します！

地域資源被害状況調査 資源マ...
表示回数 2,962 回
最終編集: 6 日前

レイヤを追加 共有 プレビュー

- 赤崎海岸
- 五色ヶ浜海水浴場
- 千畳敷
- 常椿寺のフジ
- 平等寺のコウヤマキ
- 西出牧場
- 松波酒造
- 敦馬酒造
- 鶴野酒造店
- Heart & Beer日本海倶楽部
- 能登やなぎだ温泉
- イカの駅つくモール
- 能登ふれあいガーデン ケ...**
- 真脇遺跡縄文館・体験館
- ラブロ恋路
- 柳田植物公園
- 九十九湾海域公園
- 遠島山公園

珠洲市



輪島市



<被害状況の結果：集計表>

これからの復興を考える上で有効です！ 可視化するために、海外ジャーナルや国内の学会で発表予定です。

一次データが欲しい方には提供も可能です（⇒川澄まで問い合わせください）

被害状況調査 集計表 .XLSX ☆ 📁 📄 ドライブに保存しました

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール ヘルプ

75% 123 Arial 11 B I A

A1:C1 基礎情報

基礎情報			対象資源の情報		被害レベル	観に被害はあるか		施設（建物）				
ID	調査日時	調査者氏名	地域資源の名称	地域資源の所在地	被害レベル	観に被害はあるか	備考	観に被害はあるか	備考	かが散乱しているか	備考	入り
1	2024/2/9	川澄/丸谷/菊地	祇園崎灯台	珠洲市	0	2		0		0		
2	2024/2/9	川澄/丸谷/菊地	道の駅 のろし	珠洲市	1	1		0		0		
3	2024/2/9	川澄/丸谷/菊地	さいはてのキャパレー	珠洲市	3	1		1		1		
4	2024/2/9	川澄/丸谷/菊地	ラポルトすず	珠洲市	1	2		2		2		
5	2024/2/9	川澄/丸谷/菊地	木ノ浦ビレッジ	珠洲市	1	1		0		2		
6	2024/2/9	川澄/丸谷/菊地	木ノ浦海岸	珠洲市	1	1		0		2		
7	2024/2/9	川澄/丸谷/菊地	ランプの宿（青の洞窟）	珠洲市	1	1		0	入り口閉鎖のため。青の洞窟は、海岸線隆起のため大きな被害を受けてい	2		
8	2024/2/9	川澄/丸谷/菊地	宝湯	珠洲市	1	2		0	休憩中のため確認できず	2		
9	2024/2/9	川澄/丸谷/菊地	道の駅すずなり	珠洲市	1	2		1	トイレ	2		
10	2024/2/9	川澄/丸谷/菊地	見附茶屋	珠洲市	3	1		1		1		
11	2024/2/9	川澄/丸谷/菊地	見附島	珠洲市	1	1		0		0		
12	2024/2/9	川澄/丸谷/菊地	須須神社	珠洲市	1	1		0		2		
13	2024/2/28	川澄/佐無田/宮島/藪長	珪藻土資料館	珠洲市	3					2		
14	2024/2/28	川澄/佐無田/宮島/藪長	蛸島早船狂言	珠洲市								
15	2024/2/28	川澄/佐無田/宮島/藪長	高倉産神社	珠洲市	3	1	塔	0		1		
16	2024/2/28	川澄/佐無田/宮島/藪長	白山神社	珠洲市	0	0		0		0		
17	2024/2/28	川澄/佐無田/宮島/藪長	飯田わくわく広場 足湯	珠洲市	0	2		2		2		
18	2024/2/28	川澄/佐無田/宮島/藪長	日本発酵化成	珠洲市	1	2				2		
19	2024/2/28	川澄/佐無田/宮島/藪長	本住寺	珠洲市	3	1		1		1		
20	2024/2/28	川澄/佐無田/宮島/藪長	櫻田酒造	珠洲市	3	1		1		1		
21	2024/2/28	川澄/佐無田/宮島/藪長	オートキャンプ場	珠洲市	1	2		0		2		
22	2024/2/28	川澄/佐無田/宮島/藪長	わくわく広場	珠洲市	1	1		2		2		
23	2024/2/28	川澄/佐無田/宮島/藪長	鉢ヶ崎ケビン	珠洲市	1	1		0		1		
24	2024/2/28	川澄/佐無田/宮島/藪長	倒スギ	珠洲市	1	1		0		2		
25	2024/2/28	川澄/佐無田/宮島/藪長	珠洲復元古幸	珠洲市	1	1		1		2		

2 珠洲市 2 輪島市 2 能登町 2 穴水町 2 七尾市 2 志賀町 2 羽咋市 2 宝達志水町 2 中能登町

まとめ：得られた知見で何を分析・社会に貢献できるのか

【分析の方向性】

- 被害状況をGISに落とし込んで被害状況を可視化（震度×観光資源の被害状況）
- 観光への影響の分析
- KDDIのKLA（KDDI Location Analyzer）

→観光資源ごとにどのくらいの需要があるのかを把握していく、スポットにおける震災前後の入れ込み客数の把握

【社会実装・社会貢献】

- オープンデータ化していく ⇒ 被害状況と復興過程の経年観察を市民と一緒にしていく
→再開できる観光資源と再開が容易でないもの
- 復興ツーリズムの企画
→観光資源の再生状況の把握 → 再生したところをめぐるツアーの企画が可能に。
→被災した状況が残っている・残っていく対象の把握 → 被災惨禍のツアーが企画可能に。

ご案内：

7月30日（火）2限に参加学生による成果報告会があります！（オンラインによる一般公開も）

<参考資料>

その他:

令和6年能登半島地震でのこれまでの実践と調査内容

川澄 厚志

② 輪島における創造的復興

—被災者への聞き取り調査からみえるレジリエンスと未来志向

調査者：

川澄厚志、藤井善仁、中島日向、國分誠人、川端夏希、大坂琉翔、袴田蒼真、松木乃愛

輪島でのUnicefテント設営

場所：輪島市河井町にある重蔵神社

日時：5/11(土) 9:00~15:00

概要：金沢大学ボランティアさぽーとステーション

(ボラさぽ)に同行

配給ボランティア/Unicefのテント設営

※北國新聞にも掲載！



輪島でのニーズ調査①

場所：輪島市河井町にある重蔵神社

日時：6/18(土) 9:00~15:00

概要：9:00~11:00配給受取者を対象に計70名への調査を実施

14:00~15:00 輪島塗太郎中宮社長を訪問

▶現地の様子や人々の体験を直接お伺いする貴重な機会に



【修正後の調査票】

性別		職業		調査日時・場所					
男性	女性	その他	正職	非正職	自営業	農業	その他		
年齢		家族構成		調査者名					
<10代 <20代 <30代 <40代 <50代 <60代 <70代 <80代 <90代以上		□単独 □夫婦のみ □核家族(夫婦と子) □3世代以上世帯							
集数				質問項目					
0. 基本情報									
1. 現在の居住先		別の居住先: _____ 県 _____ 市町村 _____							
2. 現在の教育状況① (他の教育)		(複数回答可) _____							
3. 現在の教育状況② (経済的制約)		(複数回答可) _____							
4. 遊離活動 (複数回答可)		(複数回答可) _____							
5. 現在の生活状況		_____							
1. 創造的復興									
6. 私は、地域の特色 (伝統的産業、観光業、産物産品、伝統芸能、人口減少と高齢化の状況) 一輪軸の形を取り入れた復興計画が定められることに賛同している		_____							
7. 私は、事業者の新しいニーズや技術 (震災前から取り出されている自動車の水素エネルギー事業など) を取り入れた復興計画が定められることに賛同している		_____							
8. 私は、若者 (ヤクヱイティブ人材) をはじめとした関係人口 (地域外からの交流者や地域に関わる人々) の増加に期待している		_____							
2. 復興と観光への期待									
9. 私は、復興の機運を促した新しい観光の取組 (観光ブランドの創出) に賛同している		_____							
10. 私は、復興の機運を促した新しい観光の取組 (観光ブランドの創出) に賛同している		_____							
11. 私は、復興の機運を促した新しい観光の取組 (観光ブランドの創出) に賛同している		_____							
3. 経済的レジリエンス									
12. 私の住んでいる地域では、災害時でも事業継続や雇用確保の取組が行われた		_____							
13. 私の住んでいる地域では、過去の震災(2007年の能登半島地震、阪神淡路など)における経済的な被害を今回の震災で生かすことができた		_____							
4. 社会的レジリエンス									
14. 私の住んでいる地域では、災害時でも住民同士の助け合いが行われた		_____							
15. 私の住んでいる地域では、過去の震災(2007年の能登半島地震、阪神淡路など)における経済的な被害を今回の震災で生かすことができた		_____							
16. 私の住んでいる地域では、過去の震災(2007年の能登半島地震、阪神淡路など)における経済的な被害を今回の震災で生かすことができた		_____							
17. 私の住んでいる地域では、過去の震災(2007年の能登半島地震、阪神淡路など)における経済的な被害を今回の震災で生かすことができた		_____							
18. 私の住んでいる地域では、過去の震災(2007年の能登半島地震、阪神淡路など)における経済的な被害を今回の震災で生かすことができた		_____							
19. 私の住んでいる地域では、過去の震災(2007年の能登半島地震、阪神淡路など)における経済的な被害を今回の震災で生かすことができた		_____							
5. 文化的レジリエンス									
20. 私の住んでいる地域では、震災後も地域の伝統行事や祭りが継続された		_____							
21. 私の住んでいる地域では、震災後も地域の伝統行事や祭りが継続された		_____							
22. 私の住んでいる地域では、震災後も地域の伝統行事や祭りが継続された		_____							
23. 私の住んでいる地域では、震災後も地域の伝統行事や祭りが継続された		_____							
6. 希望									
24. 復興の進捗は、いろいろなスピードで進んでいる		_____							
25. 復興の進捗は、いろいろなスピードで進んでいる		_____							
26. 復興の進捗は、いろいろなスピードで進んでいる		_____							
27. 復興の進捗は、いろいろなスピードで進んでいる		_____							
7. 強有感									
28. 復興の進捗は、いろいろなスピードで進んでいる		_____							
29. 復興の進捗は、いろいろなスピードで進んでいる		_____							
30. 復興の進捗は、いろいろなスピードで進んでいる		_____							
8. レジリエンス									
31. 復興の進捗は、いろいろなスピードで進んでいる		_____							
32. 復興の進捗は、いろいろなスピードで進んでいる		_____							
33. 復興の進捗は、いろいろなスピードで進んでいる		_____							
34. 復興の進捗は、いろいろなスピードで進んでいる		_____							
9. 柔軟性									
35. 復興の進捗は、いろいろなスピードで進んでいる		_____							
36. 復興の進捗は、いろいろなスピードで進んでいる		_____							
37. 復興の進捗は、いろいろなスピードで進んでいる		_____							
10. 未来志向									
38. 私は、この地域からの復興が、地域をより良くする機会でもあると思う		_____							
39. 私は、この地域からの復興が、地域をより良くする機会でもあると思う		_____							
40. 私は、この地域からの復興が、地域をより良くする機会でもあると思う		_____							
41. 私は、この地域からの復興が、地域をより良くする機会でもあると思う		_____							

調査票の修正

- ・問題数が多く一人あたりに割く時間が長すぎた
- ▶設問数の削減:A4 2枚(横)をA4 1枚分(縦)に
- ・設問の見直しや注意すべき点のすり合わせ
- ▶「クリエイティブ人材」や「関係人口」といった用語の説明
- ▶被災者の心に寄り添った前置きを用意するなどの配慮

輪島でのニーズ調査②

場所：輪島市河井町にある重蔵神社

日時：6/19(水) 9:00~11:00 *食料配給の前後

[タイトルなし]

概要：配給受取者を対象に約20名への調査を実施

能門さんのご協力で、

調査シート約50枚を地域の子供たちにも配布

調査後、配給のお手伝いも行った



③ ボランティア活動

- a) 4大学合同志賀町ボランティア, b) 重蔵神社の春祭り,
 - c) 重蔵神社でユニセフテントの設置
-

	<p>【実施済】 4大学（金沢大学、早稲田大学、東洋大学、金沢星稜大学）合同志賀町ボランティア</p> <p>→終了</p>	<p>川澄厚志 kawasumi@staff.kanazawa-u.ac.jp</p>	<p>各フェーズ6名 （全5フェーズ）</p>	<p>能登半島地震の被災地である石川県志賀町において、町社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターを通して、被災者への支援活動を行う。現地では、一般ボランティアも活動を行っているが、それとは別に学生ボランティアとして自立的に活動を行う。学生が復旧段階から継続的に志賀町でボランティアをすることで、今後の志賀町の被災地復興の一助としたい。</p> <p>■内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災者宅片付け（主に出されたごみの分別） 災害ゴミの処理場への運搬 被災者とのコミュニケーション 被災者の引っ越し手伝い など <p>[行程]</p> <p>7:00 金沢駅発 8:30 志賀町ボランティアセンター着 9:00 ボランティア活動 16:00 ボランティア活動終了 18:00 金沢駅着</p>	<p>①3月11日～12日 ②3月18日～19日 ③3月28日～29日 ④4月1日～2日 ⑤4月8日～9日</p>	<p>志賀町</p>
--	---	---	-----------------------------	--	---	------------



<p>【実施中】</p> <p>○復興の拠点の形成 ①：重葎神社（輪島市河井町）ボランティア （ボラサポとの協働）</p>	<p>何名でもOK！</p>	<p>①支援物資の仕分け作業と配布 ②個別案件のがれき撤去等（輪島市ボラセン） ③被災者ニーズの調査（現在、作成中）→6/8、6/19に輪島で実施決定！</p> <p>*ユニセフ多目的テントを借りて、金大の拠点を形成しますので、宿泊も可能です！</p>	<p>・ボラサポの方のスケジュールはボラサポの連絡を参照ください。 （私も上記のスケジュールや潜在課題探査分析の学生らと参加予定） その他、ご自身のご都合の良い日程で参加可能！</p> <p>輪島市</p>
---	----------------	--	---



<p>【実施済】 ○重蔵神社（輪島市）ボランティア（春祭り）</p> <p>→終了</p>	<p>最大で12名 （男女6名ずつならば宿泊OK） 6名までならば送迎サービスの可能性あり</p>	<p>①4月の春祭りでの神輿担ぎ（有志の方から神輿だけでも出したいとの要望があったが、人手不足のため学生にも来てほしいとのこと） 日時：4/6（土）昼頃 （インスタントハウスに宿泊して4/7にボランティア作業するのも〇だそうです） 場所：輪島河井町 その他： 金沢ー輪島のバスは再開しているのでそちらになる可能性もあります。 宿泊する場合は寝袋持参推奨</p> <p>②随時： がれきの撤去、支援物資の受け入れ・仕分け・提供及び、被災者とのコミュニケーションによるニーズの把握（質問票の作成と実施）</p>	<p>①学生が集まれば3月下旬～4月上旬に1日～2日の支援物資の受け入れ、仕分け、被災者への提供ボランティア ②4月6日の重蔵神社春祭りでのボランティア</p> <p>輪島市</p>
--	---	---	---



④ 能登の里山里海世界農業遺産における生 業再生のデジタルアーカイブ化

*能登の里山里海世界農業遺産実行委員会からの委託事業

参加者:

川澄厚志、後反真依子、中谷陽、有坂卓、牧野莉子、藤澤美羽、細貝尚輝、古田寛治、岡部光志、
日下部壮、祖父江恵太

- ①生物多様性が守られた伝統的な農林漁法と土地利用
- ②里山里海に育まれた多様な生物資源
- ③優れた里山景観
- ④伝えていくべき伝統的な技法
- ⑤長い歴史の中で育まれた農耕にまつわる文化・祭礼
- ⑥里山里海の利用保全活動



自然だけでなく、里山里海の維持に関わる
地域の暮らしや文化も保全する必要がある

地域システムを一体的に維持し、次世代へ継承する

大学生と小学生の協同による地域の魅力再発見事業

【背景】

- ・震災により多くの方が二次避難により地域外へ流出し、地域の過疎化が一層深刻に
- ・過疎化の進展に伴い、能登で受け継がれてきた様々な生業の継承が一層と危ぶまれる状態に

【目的】

- ・地域の生業を、地域内の小学生と地域外の大学生と一緒に学ぶことで、**地域の魅力の再認識**に繋がりたい
- ・また、震災の被害を受けながらも復興に向けて取り組む担い手の取り組みを記録し、**能登への応援を呼びかけるためのコンテンツ**として県内外のイベント等の場で活用したい。

動画は「能登への応援を呼びかけるためのコンテンツ」のひとつなので、アウトプットは取材記事でもなんでも、PRできるものならOK

【事業内容】

- ①県内の大学生（ゼミ単位等）× 県内の小学生（高学年）がグループを形成
- ②学習の手段として、小学生にも馴染みが深い「動画」づくりを通じて理解を深める
※プロの映像事業者が動画制作をコーディネート（AOIPro等）
- ③地域の担い手に取材し、生業の仕組みや震災による被害、復興に向けた取組状況を聞き取り
- ④最終的に、3～5分程度の動画を制作
- ⑤関係者が集まって視聴会を行い、意見交換

⑤ 能登での拠点づくり

ー中能登町における関係人口構築と復興の拠点づくり

* 中能登町からの委託事業

参加者:

川澄厚志、畑中星、熊倉佑和、山本祥真、一寸木美佑、祖父江恵太、佐々木心音、中谷陽

Noto-BASE構想

能登部エリアワーケーション拠点化構想 ゾーニング案

【結節ゾーン】

- 能登部地区のちょうど真ん中に位置し、「生活創出ゾーン」と「交流ゾーン」をつなぐゾーン
- エリア内交通の拠点としての整備を検討

旧丹後邸
(Noto-BASE)

交流
ゾーン

能登部上

【交流ゾーン】

- 旧丹後邸(Noto-BASE)を拠点とし、町外から来た人の活動を支えるゾーン
- 宿泊施設等の導入を検討する

能登部下

生活創出ゾーン

徒歩約5分

導入
ゾーン

能登部駅

【生活創出ゾーン】

- 既存の住民の生活を支えるゾーン
- 町外から来た人の日常生活を支える役割も果たす
- 物販店舗や飲食店(カフェ)等の導入を検討する

【導入ゾーン】

- 能登部駅前に位置し、エリアへの導入となるゾーン
- オンライン会議スペースやワークスペース、カフェ等の導入を検討する

当初想定していたNoto-BASEの役割



SIGHTS KYOTOとは、
地元住民と観光客、京都の事業者をつなぐことで
京都を持続可能な観光地にしていくための拠点。

バー × **観光案内所** × **コワーキングスペース**
Bar Information Coworking



地元京都の魅力を
発信する観光複合施設

地元×関係人口交流の場

出典：須田暁憲作成

今後のNoto-BASEの役割

SIGHTS KYOTOとは、
地元住民と観光客、京都の事業者をつなぐことで
京都を持続可能な観光地にしていくための拠点。

バー × 観光案内所 × コワーキングスペース



地元京都の魅力を
発信する観光複合施設

地元×関係人口交流の場
+
復興支援の拠点

- ◆ 中能登町の被災状況
- ◆ 地理的条件

など

町内の使用可能な場所（1）

みおやの里



ラピア鹿島



町内で使える場所を使って「**関係人口構築の活動**」を実施

出典：須田暁憲作成

町内の使用可能な場所(2)

カルチャーセンター
飛翔



町内で使える場所を使って「**復興に向けた活動**」も実施

出典：須田暁憲作成

これまでの取組

Noto-BASE構想

- ・重伝建の選定
- ・関係人口創出と交流
- ・地域の方の利便向上

生業・暮らし

- ・中能登スローター協議会
 - ・春木地区での取組
- etc

これまでの取組

令和6年能登半島地震

- ・中能登町は比較的被害が少ない
- ・地理的条件

能登部地区の今後の取組について

【ハード】

- ・旧丹後邸の復旧
- ・Noto-BASEとしての整備



令和6～7年度



【ソフト】

- ・情報交換会（震災・重伝建）の開催
- ・勉強会（震災・重伝建）の開催
- ・復興支援イベントの開催



令和6年度～



【キックオフセミナー】

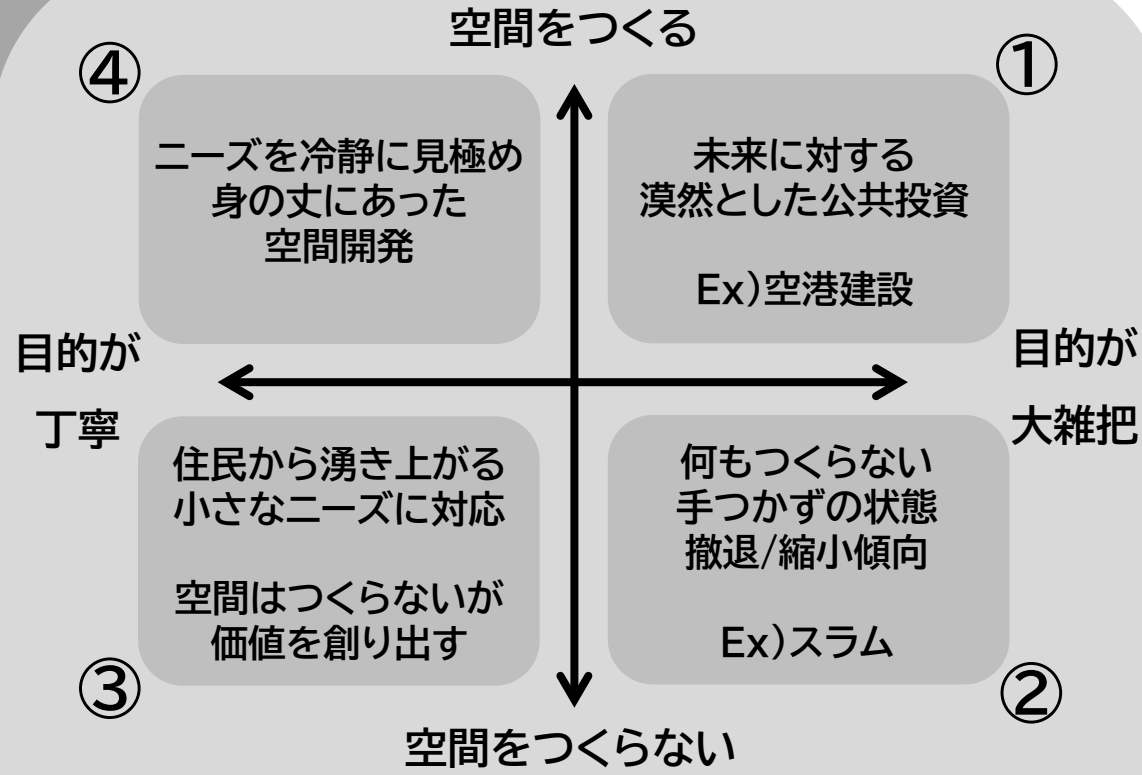
時期：令和6年5月中旬頃
内容：
令和6年能登半島地震の被害状況
【川澄】
復興支援における中能登のあり方
未来の能登における中能登の役割
（トークセッション等）

奥能登復興支援の安全拠点

出典：須田暁憲作成

復旧

震災前の姿に戻す



創造的復興

=震災前より良い状態をつくる²⁾

復旧 = 震災前の姿に戻すこと, 災害対応の原則

- ▶ ガレキ撤去などの災害ボランティア活動

創造的復興 = 震災前より良い状態をつくること

- ▶ 中能登PJはどちらかということコッチ
- ▶ “前より良い状態”とはなにか？

- ・以前よりも災害に強い状態
- ・自力で成長していける持続可能な状態
- ・新たなつながりが生まれた状態

Noto-BASE構想も単なる空間開発ではなく
創造的復興の足がかりとし, 本年度の中能登町PJでは
新たな価値を創出することを期待する(左図③?)

1) 饗庭伸(2018)「創造的復興のジャッジ」
<https://www.10plus1.jp/monthly/2018/03/issue-02.php>(2024/4/8参照)

2) 中山久憲(2017)「創造的復興,そして持続可能な地域への復興へ」『現代社会研究』(3)2-20.

メンバー募集!

今年度の活動について

募集人数 : 5-6人程度

スケジュール : 週1ミーティングが理想, 現地での活動は例年5-6回ほど

想定される活動内容 : (メンバーで議論しながら考える予定)

- ・ Noto-BASE構想に関するソフト面(住民とのワークショップ等)への関与
- ・ 復興支援拠点としての取り組みに関するソフト面(情報交換会・イベント等)への関与
- ・ 災害で失われつつある生業や文化の継承/発展に関する活動 など?

POINT

単なる災害ボランティア(=復旧)ではない ▶ 頭を使った“創造的復興”のイメージ

ご清聴ありがとうございました。